

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 4 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-525001 (P2004-525001A)
【公表日】平成 16 年 8 月 19 日 (2004.8.19)
【年通号数】公開・登録公報 2004-032
【出願番号】特願 2002-577197 (P2002-577197)
【国際特許分類第 7 版】
B 3 2 B 27/28
【F I】
B 3 2 B 27/28

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 3 月 15 日 (2005.3.15)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項 3 1
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 3 1】

支持材料が E P D M (エチレン - プロピレン - ジエン - モノマー)、E P (エチレン - プロピレンゴム)、アクリロニトリル - ブタジエン - スチレン ターポリマー、アセタールポリマー、アクリルポリマー、セルロース系誘導体、フルオロプラスチック、ナイロン及び他のポリアミド、ポリアミド - イミド、ポリカーボナート、ポリエステル、ポリエーテルエーテルケトン、ポリエーテルイミド、ポリエチレン、ポリイミド、ポリフェニレン、ポリフェニレン スルフィド、プラストマー、ポリプロピレン、ポリプロピレン インパクト コポリマー、ポリスチレン、ポリスルホン、ポリウレタン、ポリビニルクロリド、及びこれらの物質の発泡体から選択され、同様にこれら物質のブレンドからも選択される、請求項 2 7 記載の複合物品。

【手続補正 2】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項 5 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 5 2】

複合物品を生成する方法であって、
(a) 少なくとも 2 の材料を共押出しすることにより、ラミネートを生成すること；
(b) 当該ラミネートを成形品に熱成形すること (当該ラミネートは タイ層に接する 1 のイオノマー層を含み、タイ層は酸ポリマーを含む) ；及び、
(c) 支持体層を当該ラミネートのタイ層に射出成形することにより複合物品を生成すること、
を含む、方法。

【手続補正 3】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項 5 4
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項 5 4】

タイ層が更に、追加の酸ポリマー、軟質イオノマー、ポリオレフィン、又はそれらのブ

レンドから選択される少なくとも 1 の材料層を含む、請求項 5 2 記載の方法。